

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入は下記の「ホームページのご案内」参照)

部品名 (P.1「各部のなまえ」参照)	部品番号	△△表示は部品色柄番号です。 お求めの際は製品の色柄まで ご指定願います。 (底面シールに表示) <表示例> SS-PC20- IVV ←色柄
コップ	567400-△△	
中せん(中せんパッキンつき)	S35-6B	
中せんパッキン	567401-00	
ストラップ	567402-△△	
ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル (10g×4包入り)	SB-ZA01	

- 中せん・中せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 中せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。
- 補修用性能部品[※]の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-345135

携帯・PHS OK

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06)6356-2451(有料)
 - FAXでのお問い合わせ.....FAX (06)6356-6143(有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

象印マホービン株式会社

SS-PC / H



家庭用

取扱説明書

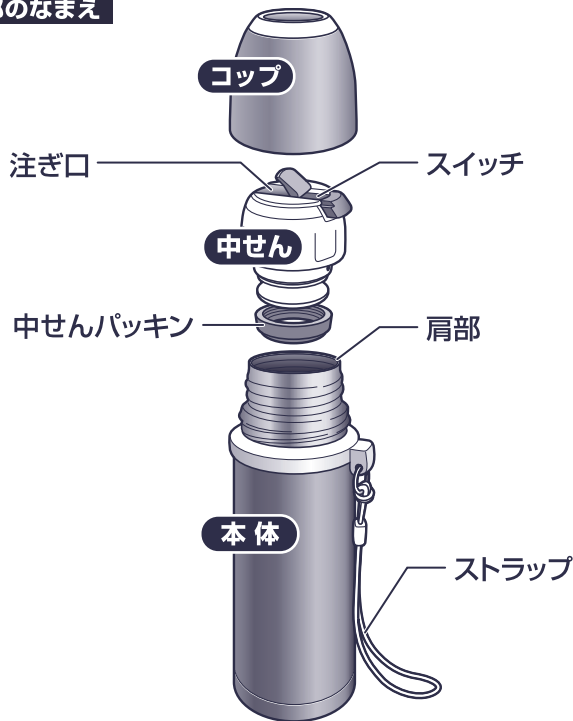
ステンレスボトル
SS-PC 型

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは大切に保管してください。

- ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



- お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや必ずお守りください。

飲み物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは

乳幼児の手の届くところには置かない。
また、いたずらには十分注意する
やけどやけがなど危険です。

ストラップを持って振り回さない
けがや破損など危険です。

コップや中せんを持って運ばない
落とすと危険です。

中せんは確実に取りつけて使用する。また、
使用後はスイッチを押し、注ぎ口を閉める
漏れてやけどなど危険です。

中せんパッキンは必ずつけた状態で使用する
漏れてやけどなど危険です。また車内や
衣服を汚す原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲み物を入れてると本体外側が熱く
なり、やけどの恐れがあります。

飲み物はその日のうちに飲みきる
腐敗の原因になります。また長時間放置
した場合は腐敗によりガスが発生し、本
体内の圧力が上がり、中せんをはずす
ときに中せんが飛んだり、飲み物がふき出
たり、中せん・コップなどが破損して飛散
することがあり危険です。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因に
なります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

自動車走行中は飲まない
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因
になります。また運転者の場合、運転へ
の注意が散漫となり、非常に危険です。

傾けた状態や、顔などの近くで
スイッチを押し出すなど
飲み物が急に出たり、飛散するなど、
やけどの恐れがあります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない
飲み物を入れての保温や保冷を目的と
したものです。

本体外側の底に貼っている
シールは絶対にはがさない

さびや穴あきなど
故障の原因になります。



熱い飲み物を入れた場合

- 飲み物を注ぐときはゆっくり傾ける
飲み物が勢いよく出てやけどの恐れが
あります。
- 本体を振らない
やけどやけがなど危険です。
- 飲む際にやけどの恐れがあるので注意する
断熱効果により、熱い飲み物を入れて
も本体外側は熱くなりません。
- 直接飲まずに、必ずコップを使用する
やけどなど危険です。
- 本体内の圧力が上がり、中せんをはずす際にかた
くることがあります。そのときはスイッチを
引き出したあとに、中せんをはずしてください。
無理に中せんをはずすと中せんが飛ん
で、けがややけどの恐れがあります。

次の物は絶対に入れない

- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、中せんが開か
なかったり、圧力によっては飲み物が
ふき出たり、中せん・コップなどが破損
して飛散することがあり危険です。
- 牛・乳・飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。そのま
ま長く放置した場合は腐敗によりガスが
発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物
がふき出たり、中せんやコップなどが
破損して飛散することがあり危険です。
- みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コー
ティングを施しておりますが、さびや
保温・保冷性能が低下する原因になり
ます。
- 果内・お茶の葉など
詰まる、漏れるなど故障の原因になり
ます。

飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎますと中せんのスイッチがかた
くったり、中せんを取りつける時、飲み物
があふれる原因になります。また、中せん
内に飲み物が入り、あとから漏れ出すこ
とがあります。入れすぎた場合は少量の
飲み物を捨ててから、元通り中せんを取
りつけてください。



電子レンジでの加熱はしない

火花が飛び危険です。また、変形や変色
の原因になります。

ご注意とお願い

氷が大きくて入らない場合は、あらか
じめ小さく砕いてから入れる

無理やり押し込んだり、たたいたりする
と、変形し、故障の原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を
与えない

樹脂部分が破損したり、ステンレス表面が
へこみ、保温・保冷性能が低下すること
があります。

使用後は必ず中せん・中せんパッキンを
きれいに洗う

腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因に
なります。また飲み物が漏れる原因にな
ります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

本体の絵柄をつめや固いもので
ひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

スポーツ飲料を入れて使用する場
合は、次のことを守ること

- 外出時など十分にお手入れができない
場合でも、使用したあとはすぐに本体
内側・本体外側(肩部)・中せん・コッ
プをよく水洗いしてください。
使用後放置しておく、さびや穴あき
など故障の原因になります。
- 本体内側のフッ素コーティングを傷つ
けないように、柔らかいスポンジなど
でお手入れしてください。
傷がつくと、さびや穴あきなどの原因
になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

熱いやかんに肩部に触れさせない

転倒してやけど
などの危険が
あります。また
傷や変形の原因
になります。



洗浄した中せんに、水が残らないよう
数回振り、十分ふき取る
残った水が漏れてくる場合があります。

保温時に、コップの内面に水滴が
つく(結露する)場合がありますので、
ご注意ください。

熱いお茶を長時間保温すると、お茶
の色が変わります。お出かけの時は、
ティーバッグなどのご利用をおすすめ
します。

使い方

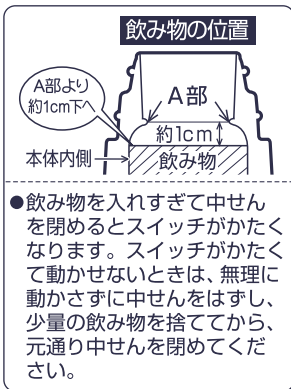
●ご使用前にコップ・中せん・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

1 本体からコップ・中せんをはずす

2 飲み物を入れ、中せんを取りつける

point あらかじめ本体内側に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。

- 中せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。【P.6 中せんパッキンの取り付け方】参照)
- 中せんは、確実に取りつけてください。
- 注ぎ口は確実に閉めてください。
- 本体を逆さにして漏れないこと確認してください。漏れた場合は【P.7 Q&A】参照



- 飲み物を入れすぎて中せんを閉めるとスイッチがかたくなります。スイッチがかたくて動かせないときは、無理に動かさずに中せんをはずし、少量の飲み物を捨ててから、元通り中せんを閉めてください。

3 飲み物を注ぐ

- ①本体を立てた状態で中せんのスイッチを矢印(→)の方向へ引き出して、注ぎ口を開ける
 - ②本体を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ
 - ③注いだあとは、本体を立てた状態でスイッチを矢印(←)の方向へ押しして注ぎ口を閉める
- 熱い飲み物を注ぐときはゆっくりと傾けてください。(飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。)



- 飲み物を注いだあと、本体を傾けた状態で、中せんの注ぎ口を閉めると中せん内に飲み物が残り、あとから漏れ出して衣類やバッグなどが汚れる原因になります。また、コップの内側にも飲み物の「しずく」が残ることがあります。飲み物の漏れによる汚れを防ぐため、次のことをお守りください。

- 飲み物を注いだあとは、本体を立てた状態で2~3秒たってから、注ぎ口を閉めてください。
- コップの内側に残った「しずく」は、振り切ったあと、よくふいてください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。



お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

本体外側 コップ 中せん

- ①ストラップをはずす。
 - ②ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。
 - ③すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。
- 洗にくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。

本体内側

- ①本体にぬるま湯を入れ、中せんをつけた状態で繰り返し湯を注ぐ。
 - ②中せんをはずし、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに、含ませて洗う。
 - ③すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。
- 常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。

ストラップ

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて、汚れをふき取る。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
 - 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
- 本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。



- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンジング・メラミンスポンジなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 本体を丸洗ったあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。水滴のあとやさびが発生する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんを取りつけずに30分~1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(上記「お手入れ」参照)

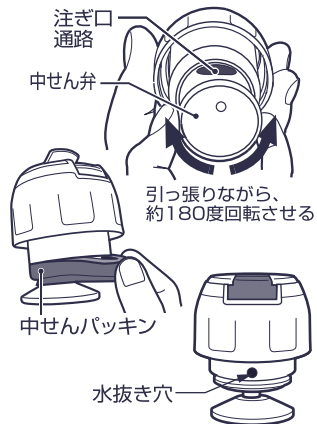
茶しびなどのお手入れ

- 本体内側や中せんにごびりついた茶しびなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤 **ピカボトル**」をご利用ください。(別売品)【P.8参照】
- ピカボトルを使用する場合は、中せんを本体からはずしてください。

お手入れ つづき

中せんのお手入れ方法

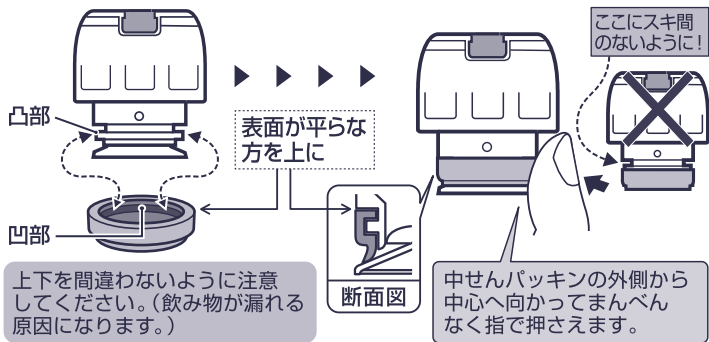
- 1 中せん弁を下方向へ引っ張りながら、約180度回転させ、弁を開いた状態で止める。(さらに180度回転させると、元に戻ります。)
- 2 中せんパッキンを取りはずす。
- 3 むるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて、中せん・中せんパッキンをそれぞれ洗い乾燥させる。
- 4 中せん内に入った水は、水抜き穴から流し出し、数回振り切ったあとによくふく。(中せん内に水が残っていると、あとから漏れ出て衣類やバッグなどが汚れます。)



中せんパッキンの取り付け方

- 中せんは分解しないでください。
- お手入れ後は、中せんパッキンを忘れずに正しく取りつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

中せんパッキンの凹部と中せんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取り付けます。



上下を間違わないように注意してください。(飲み物が漏れる原因になります。)

断面図

中せんパッキンの外側から中心へ向かってまんべんなく指で押さえます。

Q&A

症状	原因	処置
中せんから飲み物が漏れる	中せん・中せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。 (P.6「中せんパッキンの取り付け方」参照)
	中せん・中せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。 (P.6「中せんのお手入れ方法」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。 (P.3「飲み物の位置」参照)
飲み物(本体内部・中せん)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内部・中せんやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカポトルをご利用ください。 (P.5、6「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)をするより効果的です。 (P.4「2 飲み物を入れ、中せんを取りつける」参照)
中せんのボタンを押したときに「ブシュッ」と蒸気が出た	熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんを取りつけ、しばらく(約20秒)おいてから注ぎ口を閉めてください。	
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入っている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	